

## ●今月号の元気な話題●

- \* 宮城県漁業士会南部支部による魚食普及活動を行いました！  
【水産漁港部】・・・1
- \* 亘理町農産加工品の詰め合わせのギフトが販売されています  
【農業振興部】・・・2
- \* 大盛況！「仙臺鍋まつり」「おでんまつり」「仙台エリア輝き食材フェア」で仙台地域をPRしました！  
【地方振興部・農業振興部・林業振興部・水産漁港部】・・・2
- \* 自然環境の保全に取り組む自然保護員【林業振興部】・・・3

## みやぎ水産の日 ●今月のおすすめ●



### 【タラ】

おすすめ時期：12月～3月

### 【アカガイ】

おすすめ時期：1月～3月

## 宮城県漁業士会南部支部による魚食普及活動を行いました！ 【水産漁港部】

11月5日に塩釜仲卸市場のキッチンスタジオにおいて、「漁業のプロがおすすめ！みやぎの旬を体験しよう！」と題して宮城県漁業士会南部支部による魚食普及活動を行いました。この取り組みは、「水産業を身近に感じてもらうながら、県南部地区の主要な養殖種であるノリやカキの旬を伝えたい。」との思いから宮城県漁業士会南部支部が実施したものです。

当日は摘み立ての生ノリを使った「ノリ汁」の試食の他、漁業士による「ノリのあぶり体験」や「殻付きカキの簡単な食べ方紹介」を行うとともに、漁業者ならではの苦労話や安全安心な食材提供のための取り組みも話しました。参加した方々からは、今まさに旬のノリやカキを味わい、生産している漁業者の生の声を聞き、「知らなかった生産現場のことを興味深く聞きました。」「ノリを今摘み取っているとは知りませんでした。」といった意見をいただきました。この取り組みにより消費者の方々にこれまでよりも旬の水産物のおいしさや水産業を身近に感じていただけました。



漁業のプロから聞く話は興味深い  
(上：ノリのあぶり体験  
下：カキの簡単な食べ方紹介)



# 亶理町農産加工品の詰め合わせのギフトが販売されています

【農業振興部（亶理農業改良普及センター）】

JAみやぎ亶理の農産物直売所「おおくまふれあいセンター」では、毎年、お中元とお歳暮の時期に地元の農産加工品の詰め合わせセットをギフトとして販売しています。販売にあたっては、亶理町農産加工推進協議会がギフト用商品の詰め合わせを行い、包装しています。



地元農産加工品の詰め合わせ  
ギフト（3,400円）

亶理町農産加工推進協議会では、デザインの改善を課題としていたことから、普及センターではデザインマトカの代表遠藤和紀氏を専門家に招き、商品デザインの作成を支援しました。その結果、ジャムビンの形状の統一と個人消費を想定して140gの小型ビンへと変更することになりました。また、商品の特徴と生産者の顔が見えるよう、ラベルに素材の品種と生産者の顔写真を付け、統一デザインとしました。さらに、生産者のこだわりや地域の特徴、復興に対する想いや感謝をリーフレットにして同封することになりました。

おおくまふれあいセンターでは、1月まで販売の予定です。今が旬の農産加工品を大切な方へ贈ってみませんか。

## 大盛況！「仙臺鍋まつり」「おでんまつり」「仙台エリア輝き食材フェア」で仙台地域をPRしました！

【地方振興部・農業振興部・林業振興部・水産漁港部】



仙台鍋グランプリに輝いた  
七ヶ浜町の「ボッケ鍋」

11月8日、9日の2日間、仙台市勾当台公園市民広場で「仙臺鍋まつり」と「おでんまつり」を開催しました。両日ともに天候にも恵まれ、会場は多くの来場者で賑わいました。「仙臺鍋まつり」では、各地域の特産品を使った自慢の鍋で仙台地域の魅力を大いにPRし、調理専門学校教員やプロの料理人等の審査による「仙臺鍋グランプリ」では、七ヶ浜町の「ボッケ鍋」が初のグランプリに輝きました。

同じ会場内で開催した「おでんまつり」では塩釜地域の水産練り製品の生産量全国1位奪還に向けて、旨みたっぷりのかまぼこをPRしました。

また、「仙台エリア輝き食材フェア」では、塩釜地域の水産加工品、菌床きのこ、仙台井土ねぎなど、仙台地域の食材をPRした他、毎年好評であるみやぎ食材伝道士によるステージイベント「ライブクッキング」では「生きくらげ」を使った地産地消メニューを紹介しました。

今年初参加の仙台コミュニケーションアート専門学校による地域食材を使ったサワールージュカレーやしもふりレッド肉まん、野菜のラスクなども販売し、仙台地域の魅力をたっぷりとお伝えしました！



会場の賑わいの様子

**仙**台地方振興事務所管内には、2,676ヘクタールの  
国定公園、39,762ヘクタールの県立自然公園、175  
kmに及ぶ海岸線など、豊かで多様な自然環境があります。  
これらの自然環境を保全するために、「県自然環境保全地域  
等の保全」「鳥獣保護及び狩猟」「自然公園の保護及び利  
用」及び「森林の保全」などの環境保全行政を円滑かつ適正  
に行うことを目的として、21名の自然保護員が配置されて  
いますので、その取り組みを紹介します。

自然保護員の方々は、船形山や泉ヶ岳からなる県立自然公  
園船形連峰やハクチョウ・マガモが飛来する加瀬沼緑地環境  
保全地域などで、多くの県民が自然に親しんでもらうため、  
利用者への山火事防止や違反行為の未然防止の巡回指導に取  
り組んでいます。更に震災以降に急増している林地開発に対  
応するため、森林保全巡視活動に取り組み違反行為の未然防  
止にも寄与しています。

また、今年はツキノワグマの出没情報が近年に近く増加しており、特に当管内においては里山などの生活圏  
で出没しているため、現地確認や捕獲立会など地域に密着した活動も行っています。  
その他、県が年3回実施しているガンカモ類生息調査においては、担当地域の調査を行っており、野鳥観察等  
の知識と技能向上のため、今年10月に伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターで開催された研修に参加するな  
ど、自己研鑽に努めています。

自然保護員は、地域の自然環境の保全等のために、なくてはならない存在となっています。



ガンカモ類生息調査現地研修

読者の皆さまからのたくさんの**明るい情報**をお待ちしております！

問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部

TEL：022-275-9114 FAX：022-275-0296 E-Mail：[sdsinbk@pref.miyagi.jp](mailto:sdsinbk@pref.miyagi.jp)

(HP) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>

※次号は平成29年2月下旬発行予定です。